

## 参加報告書 (インドネシア・ブディルフル大学)

### ① 本プログラム参加のきっかけ・目的について (200 字以上)

今回このプログラムに参加したいと思ったきっかけは、大学生のうちに日本以外の外国についての見識を深めたいと思ったことが主な要因です。また、ボランティア活動にも参加してみたいと考えていたので、ボランティアに重きを置いたこのプログラムに魅力を感じ、参加することに決めました。日本の文化を広めるワークショップが主な活動内容でしたが、日本の文化を広めるだけでなく、インドネシアの文化も学び、文化の相互交流をしたいと思い、留学に臨みました。

### ② プログラム内容について (各項目 200 字以上)

#### 1. ボランティア活動・ワークショップについて

ボランティア活動では、老人ホームや孤児院に行き、現地の方々と交流をしました。ワークショップでは、現地の高校生と書道、風鈴、紙人形、たこ焼きづくりを通して、交流しました。ワークショップは二日間行われ、一日 100 人ずつの高校生を 4 グループに分け 25 人の高校生と交流しました。ワークショップに来てくれた学生は、日本のアニメなどが好きで、日本語の勉強をしている人もいたので積極的に参加してくれました。ワークショップに参加した高校生には、最終日におこなわれる縁日に参加できるチケットも配布しました。縁日には、たこ焼きやベビーカステラなどの食べ物や、射的、スーパーボールすくいなどのゲームを行いました。本格的な縁日を行うことができ、参加してくれた方々も楽しんでくれて、大成功させることができました。

#### 2. 授業 (インドネシアの歴史や文化、インドネシア語) について

インドネシア語の授業では、自分の名前や趣味などの簡単な自己紹介や、現地のインドネシアの方と簡単な会話ができるくらいの文法や単語を学びました。実践を通して、学ぶことができたのですぐに身につけることができました。また、歌やダンスのクラスでは、プログラムの最後におこなわれるセレモニーで披露する演目のための練習を行いました。インドネシアの伝統的な歌やダンスを学ぶことができ、文化に触れることができたので非常に良い経験となりました。

#### 3. フィールドトリップ (バンドンツアー) について

一泊二日でバンドンに行きました。新幹線でジャカルタからバンドンまで向かい、バンドンではバスで移動しました。初日は、アウトレットモールに連れて行ってもらって買い物をしたり、インドネシアの伝統芸能のショーを見たりして過ごしました。昼食は、おしゃれな雰囲気のカフェに行き、夕食は、イタリアン料理を食べました。夕食の後には、バンドンのメインストリートを散歩しました。二日目は、朝から散歩をして朝食を食べるためにカフェに向かいました。その後、ホテルに戻ってから、バスに乗ってジャカルタへ帰りました。

### ③ 本プログラムへの参加によって得たこと、および感想 (200 字以上)

インドネシアへの留学を通して、異なる環境で過ごす難しさ、異なる文化の人と交流することの大切さを学ぶことができたと思います。日本で過ごしているだけでは出会うことのなかった考え方や文化とたくさん出会うことがで

き、自分自身も柔軟な考えを持つことができるようになりました。また、インドネシアの人々は Just try! といった考えを持っている人が多かったので、私も失敗を恐れず挑戦してみようという積極性を身につけることができました。勿論、英語の能力の向上もできましたが、それ以上にこのプログラムによって、人間として様々な面から強くなれたと感じました。

#### ④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

##### 1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

ジャカルタは、インドネシア内では比較的治安がいいほうではありますが、外を歩く際にはスマホや財布などの貴重品をズボンなどのポケットに入れないといった注意が必要です。大学のキャンパスは非常に大きく、カフェなどもありました。

##### 2. 食事について

朝食は、寮に食パンやシリアルなどが置いてあるのでそれを食べたり、スーパーでバナナを買って食べていました。昼食は、先生が用意してくれた食事を食べていました。夕食は、バディーとモールに行った日はバディーと一緒にモールで食べたりしました。それ以外の日は、近くのマクドナルドでテイクアウトしたり、Grab で注文したり、日本から持ってきた白米やカップヌードルを食べたりしました。

##### 3. 交通手段について

基本的に、大学に通学する際は大学のバスが送迎してくれて、途中下車して買い物をする事も可能でした。休日にバディーとモールなどに遊びに行く際は、Grab などのアプリを使って、タクシーを手配していました。基本的にバディーが付き添ってくれていたので安心でした。

##### 4. 通信環境について

寮や大学には Wi-Fi もありますが、外出先でも使えるように sim カードやポケット Wi-Fi を手配することをお勧めします。個人的には e-sim がおすすめです。Sim カードを入れ替える必要もなく、充電する必要もないので非常に便利です。また、私は無制限のものを購入して使用しましたが、20gb ほどで十分足りると思います。

##### 5. 買い物事情について

上記の通り、バスの運転手さんに伝えればスーパーで買い物したり、マクドナルドやドーナツ屋さんでテイクアウトすることが可能でした。また、休みの日にはバディーがモールに連れて行ってきて、洋服やお土産などを購入することができました。

##### 6. 医療事情について

私は特に病院に行くほど体調を崩さなかったのですが、他の学生は体調を崩してしまった際に、大学の先生に寮の近くにある病院に連れて行ってもらっていました。その病院には日本語の通じる医師の方もいるので、安心して受診できます。

##### 7. その他、現地での生活等に関して、参考となることがあれば教えてください

インドネシアの方は日本のカップヌードル(特に一蘭)やお菓子にとっても興味があったので、お土産としてたくさん持っていくことをお勧めします。また、町中に野良猫がたくさんいますが、何か病気を持っていたり、虫がついていたりするので絶対に触らないでください。歩道の舗装も日本ほど丁寧ではなく、足がはまるほどのサイズの穴が空いていることがあるので、足元に気を付けながら歩くようにしてください。